

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 年 月 日

事業所名

重症児者多機能型デイサービスあすなる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	9	3	1		児童が多く余裕のスペースがない
	2	職員の配置数は適切である	7	4	2		児童と職員が2対1となり職員が足りない
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	10	3			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	5	3	5		情報共有不足で支援に偏りがある
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	9	2	2		情報共有できているが職員すべてが意識で きてはいない
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	8	3	2		わからない
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	6	4	3		わからない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	10	3			移乗の際の安楽なポイントを研修すべき 積極的に関わっていないため、皆で協力し て向上したい
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8	2	3		足りていない
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	5	4	4		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	3	3		児発で活動できても放デイでは疲れ切っ ていることが多いと感じる
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	8	2	3		短時間であり、トイレ介助に時間がかかるた め活動がきちんとできていない
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	6	3		臨機応変にできている 保育士がいないと曖昧になってしまう
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	7	5	1		保育士がいないと曖昧になってしまうもう少 し情報共有の時間があるといい
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	5	5	3		臨機応変にできている できていない。同じ職員が対応することがあ るため、全体で関わる必要がある

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	8		振り返りは朝行っている 決まった職員では行えるが、全員では行えていない 情報共有できている 情報共有もっと必要
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	3	2		記録・報告が相談できていない、意識して共有していきたい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	2	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	3	3		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	4	4		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	4	2		時折、学校より情報共有が足りない時があるため、急な対応が全員でできるように学んでいく必要がある
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10	2	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2	3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	2	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	4	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7	5		長期休暇など1日利用時や体調に合わせての利用のため少ない 知らない 時間や体調面での課題はあるが交流したい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	5	5		知らない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	2			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	3	5		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	2	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	4	1		情報共有が不足していると感じるときがある
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	2	3		父母会はやって無い
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	2	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	4	4		インスタなどで行っている
	35	個人情報に十分注意している	12		1		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12		1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1	4		コロナやインフル等の心配があるため、招待できていない ハロウィーン等で交流できた
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1	3		不足していると感じる
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	1	2		不足していると感じる
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	3	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11	1	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12		1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	3			身体が職員より大きい児童が多いため、もう少し情報共有し改善に努めていきたい